

## ニュースクリップ & 映像教材

### ■「なるほど！小学校外国語」解説動画 公開中

小学校学習指導要領全面実施により、小学校3・4年生外国語活動、5・6年生教科外国語の授業が始まっている。文部科学省では実践等に出てきた先生方の疑問に対して学習指導要領や参考資料等に基づき下記HPにて

解説している（写真）。  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1387503\\_00002.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503_00002.htm)



### AV情報

#### ■第11回教育総合展EDIX東京

リードエグジビジョンジャパン（株）主催により、標記展示会が開催される。

<日時>令和2年9月16日（水）～18日（金）10：00～18：00 ※最終日は、17：00まで

<会場>幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）

<内容>ICT機器、デジタル教材、業務支援システム、eラーニング等、3部門「教育ITソリューション」「学校施設・サービス」「STEAM教育」の展示。要事前申込。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.edix-tokyo.jp/ja-jp/about/outline.html>

<問い合わせ先>リードエグジビジョンジャパン（株）教育総合展 TEL 03-3349-8749

#### ■CEATEC（シーテック）2020 オンライン開催

「ニューノーマル 社会と共に歩むCEATEC」をスローガンにCEATEC実施協議会（（一社）電子情報技術産業協会、（一社）情報通信ネットワーク産業協会、（一社）コンピュータソフトウェア協会）主催の展示会がオンラインで開催される。

<日程>令和2年10月20日（火）～23日（金）

<内容>「Society 5.0の総合展」として、CPS/IoTやロボット、人工知能（AI）などの先端技術を活用した未来の社会に向けたビジョンや新たなモデル展示等。教育分野では、オンライン授業、Stay Home時の学習支援などについての展示を予定。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.ceatec.com/ja/application/outline/>

<問い合わせ先>CEATEC運営事務局  
（一社）日本エレクトロニクスショー協会  
MAIL [contact2020@ceatec.com](mailto:contact2020@ceatec.com)

#### ■第4回通信・放送Week

通信から放送まで網羅した標記展示会が、リードエグジビジョンジャパン（株）の主催により、開催される。

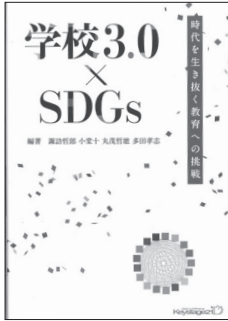
<日時>令和2年10月28日（水）～30日（金）

10：00～18：00 ※最終日は、17：00まで

<会場>幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）

<内容>5G/IoT、光通信、4K・8K映像技術、映像伝送などの最新技術の展示、セミナー等。要事前申込。詳細は、次頁HPを参照のこと。

## ■ ブックレビュー

『学校3.0×SDGs  
—時代を生き抜く教育への挑戦—』

諏訪哲郎、小堂十、  
丸茂哲雄、多田孝志 編著  
(株)キーステージ21発行  
令和2年2月1日刊  
A5判、240頁  
2,000円(税別)

## ○学びの質を変えるSDGsの実践

書名『学校3.0×SDGs』に出会い、奇異な感じを持たれただろう。本書は、我が国の教育改革の方向性を示したものである。

- ・「学校教育1.0」150年前に生じた「国民国家型教育システム」
- ・「学校教育2.0」現代教育の「資質・能力重視の教育システム」
- ・『学校3.0×SDGs』今、求められる地球的・生態的・人類的危機に対応する「持続可能社会型教育システム」

本書は、5章構成になっている。私は3つ

に統合し、その内容、実践の特性を述べる。

一つは、主筆の諏訪哲郎による「SDGsの学び」の意味づけと大学生を対象にSDGsの学び方の貴重な実践が展開されている。

二つは、SDGsの実践校の事例研究である。後半に実践から学ぶべき点を例示する。

三つは、多田孝志の持続可能社会形成の方法原理として「共創型対話学習」の重要性を論究している。

SDGsの実践2例から学ぶべき点を述べる。

第一例は、東京都杉並区立西田小学校（小堂十、新井雅晶）のSDGs実践研究である。当初曖昧にして不確かな研究に子どもと教師とが一体となって取り組む。2年目には研究の方法が明確になり、3年目は、子ども、教師、地域の方々、NGO、保護者、同窓会が融和した協働作業により「学びの質が変容」し、相互に感動の成果を共有する学びが印象的。

第二例は、山梨県北杜市立須玉小学校（丸茂哲雄）は、SDGsの授業に「共創型対話学習」を根底に子どもの思考・認識の深化過程を提示された。子どもと教師の「SDGsの学び」の変容は美事である。

(東京学芸大学名誉教授 佐島群巳)

<https://www.cbw-expo.jp/ja-jp/about/outline.html>

<問い合わせ先>リードエグジジションジャパン(株) TEL 03-3349-8568

## ■第36回「東書教育賞」論文募集

(公財)中央教育研究所と東京書籍(株)では、「未来を担う子どもと共に歩む確かな教育実践」を課題に論文を募集している。

<資格>小中学校教員及び教育関係者。

<内容>教育課題に関する工夫・実践、その成果について具体的に記述のこと。○個性を生かし、自ら学ぶ力を育てるための学習指導、○ICTを活用した教科等の学習・指導や問題解決能力、コミュニケーション能力、創造性、情報モラルなど

の育成等。

<表彰>最優秀賞50万円、優秀賞30万円ほか。

<締切>令和2年10月20日(火)必着。

<問い合わせ先>(公財)中央教育研究所内「東書教育賞」審査事務局 TEL 03-5390-7488

## コンクール情報

## ■第8回グリーンイメージ国際環境映像祭作品募集

グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会では、世界の環境の今をスクリーンで知る・学ぶ・楽しむ標記祭典開催にあたり、作品を募集している。

<テーマ>環境

<条件>2016年以降に制作された作品。ドキュ

メンタリー、ドラマ、アニメーションなどジャンルは問わない。

＜賞＞グリーンイメージ大賞1点ほか。

＜締切＞令和2年9月30日（水）

＜問い合わせ先＞グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会（一社）環境・文化創造機構内

TEL 03-6451-2411

### ■第26回学生CGコンテスト作品募集

（公財）画像情報教育振興協会（CG-ARTS）主催により、学生のもつ創造性を広く発表する場である標記コンテストにおいて、作品を募集している。＜募集について＞学生が制作した作品。ジャンルは一切不問、テーマも自由。映像、アニメーション、MV、グラフィック、インタラクティブアート、ゲーム、アプリケーション、ウェブ等。応募作品は、アート部門とエンターテインメント部門の両方にエントリーされ、2部門で審査。

＜賞＞各部門において、PLATINUM（最優秀賞）1作品、GOLD（優秀賞）、SILVER（審査員賞）ほか。

＜締切＞令和2年10月26日（月）17：00

＜問い合わせ先＞CG-ARTS「学生CGコンテスト」事務局 <https://www.cgarts.or.jp/scg/contact/> から問い合わせのこと。

### ■第18回「全国地域映像コンクール」作品募集

NPO法人地域文化アーカイブスでは、地域で制作された文化資産等に関する映像を募集し、顕彰することにより、地域文化の支援・維持・継承に寄与することを目的とした標記コンクールの実施あたり、作品を募集している。

＜募集作品＞地方公共団体及び美術館、博物館等公共関連団体が企画・制作した動画映像ソフト。制作者はプロ・アマ問わない。地域の伝統芸能・文化資産等に関する映像で、テーマは自由。

＜賞＞グランプリ、優秀賞ほか。

＜締切＞令和2年10月30日（金）必着。

＜問い合わせ先＞NPO法人地域文化アーカイブス事務局 TEL 03-5876-3970

### ■第32回丹波篠山映像大賞作品募集

丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会、丹波篠山映像祭実行委員会主催による標記全国アマチュア映像コンテストでは作品を募集している。

＜募集作品テーマ＞「生きる」（7分以内）

＜応募資格＞アマチュア（映像制作を職業にしていない人）。個人、団体、年齢、国籍等は問わない。

＜応募条件＞DVD-R、BD-Rのメディアで応募。2017年以降に制作された作品等。

＜賞＞映像大賞10万円、兵庫県知事賞5万円、丹波篠山市長賞3万円ほか。

＜締切＞令和2年11月30日（月）必着。

＜問い合わせ先＞丹波篠山映像祭実行委員会事務局 TEL 079-590-1301

## 学会情報

### ■日本STEM教育学会第3回年次大会 オンライン開催

日本STEM教育学会では、「STEM:新たな学びのスタンダードを目指して」をテーマに標記年次大会をオンラインにより開催する。

＜日時＞令和2年9月26日（土）13：00～16：30

＜内容＞基調講演、シンポジウム「日本版STEM教育スタンダードを考える」等。要事前申込。

＜問い合わせ先＞日本STEM教育学会 <https://www.j-stem.jp/inquiry/> から問い合わせのこと。

### ■2020年度日本教育メディア学会 第27回年次大会 オンライン開催

日本教育メディア学会では、標記年次大会をオンラインにより開催する。

＜日時＞令和2年10月17日（土）12：20～17：00・18日（日）9：10～17：20

＜内容＞大会企画「オープニングセッション 教育現場を触発する教育メディア研究」「初等中等教育におけるオンライン授業とデジタルリテラシー」、課題研究「GIGA スクール時代の ICT 環境・開発・活用」「コロナ禍における高等教育でのオンライン授業の実践と課題」、一般研究発表等。

＜問い合わせ先＞第27回年次大会事務局

岩手県立大学ソフトウェア情報学部 市川研究室  
MAIL [jaems.taikai2020@gmail.com](mailto:jaems.taikai2020@gmail.com)

### ■デジタルアーカイブ学会第5回研究大会 オンライン開催

デジタルアーカイブ学会では、標記研究会をオンラインにより開催する。

＜日程＞令和2年10月17日（土）・18日（日）

＜内容＞学会賞授賞式、特別講演、ワークショップ

プ「8mm動的映像のもつ資料価値を採掘する：その現状と展望」[地域コンテンツのアーカイブプロジェクト]等。

<問い合わせ先>デジタルアーカイブ学会

<http://digitalarchivejapan.org/contact/general>

から問い合わせのこと。

### ■日本教育工学会研究会「教育の情報化／一般」オンライン開催

日本教育工学会では、標記をテーマとした研究会をオンラインにより開催する。

<日程>令和2年10月25日(日)

<内容>「遠隔学習」「GIGAスクール構想の実現に向けて」など、各地の取組から実効性の高い教育方法・教育実践に関する研究報告発表。

<問い合わせ先>同研究会幹事

MAIL [study-group-core@jset.gr.jp](mailto:study-group-core@jset.gr.jp)

## 各地の情報

### ■第5回関西教育ICT展

(一社)日本教育情報化振興会ほか主催により、標記展示会が開催される。

<日時>令和2年10月29日(木)～30日(金)

10:00～17:00

<会場>インテックス大阪(大阪市住之江区南港北1-5-102)

<内容>最新のICT機器・システム・コンテンツ紹介。「第5回eラーニング・トレンド・フェア」、「第1回幼児教育と保育の情報化展」併催。

<問い合わせ先>関西教育ICT展事務局(株)テレビ大阪エクスプロ TEL 06-6944-9918

### ■第46回全日本教育工学研究協議会全国大会

鹿児島大会(兼)令和2年度かごしま「教育の情報化」フォーラム オンライン開催

日本教育工学協会は、「つながる!広がる!新しいICT活用のカタチー風は南、かごしまからー」をテーマに標記大会をオンラインで開催する。

<日時>令和2年11月6日(金)8:15～17:45・7日(土)9:00～17:45

<内容>授業公開(限定)、基調講演、パネルディスカッション、研究発表、トークセッション等。要事前申込。

<問い合わせ先>第46回全日本教育工学研究協議

会全国大会企画委員会 MAIL [2020\\_info@jaet.jp](mailto:2020_info@jaet.jp)

## 文部科学省選定作品

### ■7月選定 〔紙〕紙しばい 〔D〕DVD

#### 〔B〕Blu-Ray

「キジムナーにあったサンラー」〔紙〕12枚<幼稚園、小学校低学年/幼児・少年、教養>(株)童心社  
「による によるり」〔紙〕8枚<幼児、教養>(株)童心社

「消費者教育DVD 考えよう 私たちの消費生活」〔D〕20分<小学校高学年、家庭/少年、家庭生活(家庭の消費生活)>(株)全教団

「もったいないキッチン」〔B〕95分<高等学校、公民/青年・成人、国民生活(環境・資源・エネルギー)>ユナイテッドピープル(株)

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/movie/main9\\_al.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_al.htm)

## 短信

### ■文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課の異動

令和2年7月20日付

○情報教育振興室長 折笠史典氏→総務省○専門職 夏目和人氏→研究振興局参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)付専門職○国立研究開発法人情報通信研究機構 水間玲氏→情報教育振興室長○大臣官房政策課企画係 井澤主水氏→企画係員

令和2年7月28日付

○初等中等教育局長 丸山洋司氏→文部科学審議官○情報教育・外国語教育課長 高谷浩樹氏→国立研究開発法人理化学研究所○スポーツ庁次長 瀧本寛氏→初等中等教育局長○内閣官房参事官 今井裕一氏→情報教育・外国語教育課長

令和2年8月1日付

○専門官 道端祥市郎氏→大臣官房文教施設企画・防災部参事官(施設防災担当)付参事官補佐○初等中等教育局教科書課専門官 中村英孝氏→専門官

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。